

令和 5 年 11 月 14 日

小野市議会議長 山本悟朗 様

派遣議員 山本 麻貴子

議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣について下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣日 令和 5 年 10 月 30 日(月)～令和 5 年 10 月 31 日(火)

2 派遣議員 山本 麻貴子

3 派遣先 滋賀県大津市 JIAM (全国市町村国際文化研修所)

4 内 容

令和 5 年度第 2 回市町村議会議員特別セミナー (オンライン)

【10/30 講義①】

常にさらなる進化を目指して～組織づくりとリーダーシップ～
／講師：帝京大学スポーツ局長 スポーツ医科学センター教授
岩出 雅之 氏

【10/30 講義②】

今後の地方自治のあり方や議員に求められる役割
／講師：法政大学 総長
廣瀬 克哉 氏

【10/31 講義①】

地方行財政の課題

／元総務事務次官

黒田 武一郎 氏

【10/31 講義②】

食ベチョクが考える持続化可能な一次産業に向けて

／株式会社ビビッドガーデン 代表取締役社長

秋元 里奈 氏

5 所 感

オンラインでの参加は参加者どうしの交流ができないという残念さは残るが、現地へ赴かなくても貴重な講義が視聴できるのはとてもありがたい。講義内容は多岐にわたり、非常に興味深い内容が多かった。

1 日目は帝京大学ラグビー部を史上初の 9 連覇に導いた**岩出雅之氏**。

(2009 年～2017 年度全国大学ラグビーフットボール選手権大会 9 連覇)

『なぜ帝京大学ラグビー部は強いのか』

『なぜ企業チームに入っても主将が多いのか』

大学生は大人としての責任や義務を社会の中で猶予されている状態で、
新入生はまだまだ『自己中心』で『他者依存』の状態。そこから上級生になるにつれ『自己主導』『自己変容』へ向かっていく。※成人発達理論「どうせできない」という固定マインドセットから、「きっとできる」という成長マインドセットへどう導くか。

物事を『自分で決めた』という実感をもって取り組めることが自律。

その後、法政大学 **廣瀬克哉氏**

コロナの 3 年間の振り返りがきちんとできているか？全国レベルの情報に対して、住んでいる地域のローカルな情報の分析と発信は住民に届い

ていたか？オンライン議会の検討はフェードアウトでいいのか？非常時、行政の足を引っ張らない、かつ行政に丸投げしない議会。

議会、議員の役割を多くの人に知ってもらうことが担い手不足の解消になるのではないか。

住民とその活動が自治体の基礎であるはずだが、自治体が提供する公共サービスの消費者という感覚の住民が多くなっている。持続しなければならぬ公共サービスを維持し続けるために何が必要か、現実を認識する。場合によっては負担を引き受ける覚悟。

などについて講義いただく。持続していくためには多様な住民の参加が不可欠だと感じた。

2日目は、元総務事務次官の**黒田武一郎氏**

令和6年度予算の概算要求についてのベースの考え方、地方財政の課題、普通交付税の算定方法、2040年までの人口等に関する見通し、介護保険の課題、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の策定推進、デジタル改革関連法、カーボンニュートラルなど資料で説明。

その後、食べチョク**秋元里奈氏**

高年齢化と従事者数の減少。小中規模の生産者は94%を占める

中小規模農家の農業所得は200万円未満

生産者から“チョク”でお届け。

だから新鮮。だから美味しい。がコンセプトの食べチョク。

生産者と直接メッセージのやりとりができる。

販売の実績が信用につながり、さらなる顧客をよぶシステム。

クレームの対応の最初の窓口は食べチョクが担うことで、お客さんとのやりとりのハードルがさがり、安心して販売できるとのこと。システム料を払ってでも、その安心感がありがたいのだと感じた。

生産者さんとの関係性がよい。

今後の発展に興味があった。